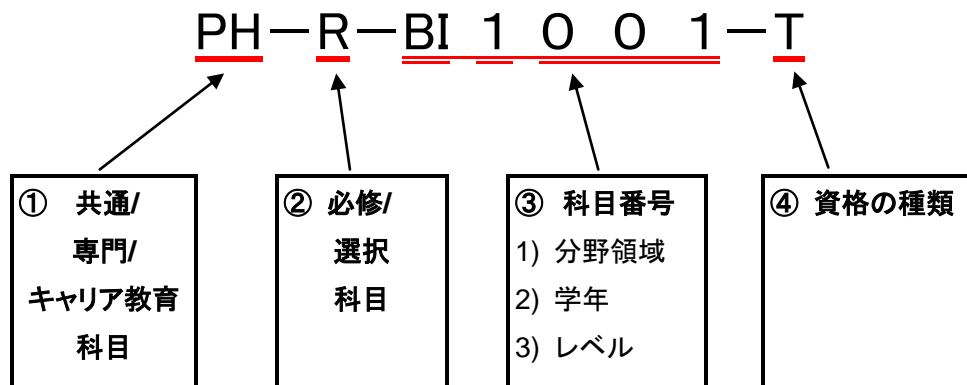


# 大阪大谷大学 薬学部薬学科 科目ナンバリングについて

(平成 24 年度以降入学生適用)

科目ナンバリングとは、大阪大谷大学で開講されている授業科目(共通教育科目・専門教育科目・キャリア教育科目)に対し、授業内容・レベル等に応じて 特定の記号や数字を付与し、体系的な教育プログラムの実現を目指す方法の事です。

ナンバリングコードは、下記の分類で付与しています。



## ① 共通/専門/キャリア教育科目(アルファベット 2 文字):

共通教育科目            LA(Liberal Arts)  
 専門教育科目            PH(Pharmacy)  
 キャリア教育科目        CE(Career Education)

## ② 必須/選択科目(アルファベット 1 文字):

必須科目            R (Required)  
 選択科目            E (Elective)

## ③ 科目番号(アルファベットまたは数字で 6 文字):

### 1) 分野領域(アルファベットと数字の組み合わせで 2 文字)

共通教育科目は、科目分類に応じて下記の分野領域番号を設定する。

番号	科目分類	科目名
RE	宗教学	宗教学
PE	体育	体育
CO	コンピュータ技術基礎	情報薬学基礎演習
HU	人文科学系	哲学、心理学、日本語表現、倫理学、死生学、生命倫理学
SO	社会科学系	法学、経済学、社会福祉論、地域ネットワーク論、国際文化交流、コミュニケーション論、看護学
NA	自然科学系	化学実習、生物学実習、数学・統計学
FE	英語	英語 I・IA・IB・II・IIA・IIB、英会話A・B
FG	ドイツ語	ドイツ語 I・IA・IB・II・IIA・IIB

FF	フランス語	フランス語Ⅰ・ⅠA・ⅠB・Ⅱ・ⅡA・ⅡB
FC	中国語	中国語Ⅰ・ⅠA・ⅠB・Ⅱ・ⅡA・ⅡB
FK	朝鮮語	朝鮮語Ⅰ・ⅠA・ⅠB・Ⅱ・ⅡA・ⅡB
00	キャリア教育科目	平成26年度以前入学生対象:教職基礎英語、教職基礎日本史、教職文章表現、教職基礎演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢAⅢB、教育インターンシップⅠ・Ⅱ、学校教育演習Ⅰ・Ⅱ、パワーアッププラクティス講座Ⅰ 平成27年度以降入学生対象:NRスキルアップ講座A・B

専門教育科目は、主たる授業内容と薬学教育モデル・コアカリキュラムの分野(またはその内容を発展させた分野)との関係にもとづき、下記のように分野領域番号を設定する。

番号	科目名*	関連する改定版コアカリ項目 (平成27年以降入学)	関連する旧版コアカリ項目 (平成26年以前入学)
BA 基本事項 (Basic)	薬学概論、医薬品開発学A	A 基本事項	A 全学年を通して、B イントロダクション
LA 法規・制度・倫理 (Law)	薬事法規と制度、社会と薬学、医薬品開発学B	B 薬学と社会	C17 医薬品の開発と生産、C18 薬学と社会
PY 物理系 (Physics)	物理化学A、物理化学B、医薬品分析学、臨床分析化学、物理系薬学実習	C1 物質の物理的性質、C2 化学物質の分析	C1 物質の物理的性質、C2 化学物質の分析、C3 生体分子の姿・かたちをとらえる
CH 化学系 (Chemistry)	基礎化学、有機化学Ⅰ、有機化学Ⅱ、医薬品化学、天然薬物学Ⅰ(天然薬用資源学)、天然薬物学Ⅱ(漢方医療薬学Ⅰ)、先端有機化学、化学系薬学実習	C3 化学物質の性質と反応、C4 生体分子・医薬品の化学による理解、C5 自然が生み出す薬物	C4 化学物質の性質と反応、C5 ターゲット分子の合成、C6 生体分子・医薬品を化学で理解する、C7 自然が生み出す薬物
BI 生物系 (Biology)	生化学A、生化学B、生化学C、分子生体情報学、栄養学、機能形態学A、機能形態学B、免疫・生体防御学Ⅰ、微生物学、医療薬物科学特論、分子栄養学・免疫学、生物系薬学実習	C6 生命現象の基礎、C7 人体の成り立ちと生体機能の調節、C8 生体防御と微生物	C8 生命体の成り立ち、C9 生命をミクロに理解する、C10 生体防御
HY 衛生系 (Hygieneology)	食品安全学、公衆衛生学、毒理学、環境安全学、衛生薬学特論、衛生薬学実習	D1 健康、D2 環境	C11 健康、C12 環境

ME 医療系 ( <u>Medicine</u> )	基礎薬理学、病態検査学、薬理学 A・B、薬物治療学 A・B・C・D、化学療法学、免疫・生体防御学Ⅱ、医療情報薬学、医薬安全情報学、薬物動態学Ⅰ・Ⅱ、製剤化のサイエンスⅠ・Ⅱ、臨床試験概論、漢方医療薬学(漢方医療薬学Ⅱ)、薬物治療学ゼミナール、生理・薬理学実習、薬剤・薬物動態学実習	E1 薬の作用と体の変化、E2 薬理・病態・薬物治療、E3 薬物治療に役立つ情報、E4 薬の生体内運命、E5 製剤化のサイエンス	C13 薬の効くプロセス、C14 薬物治療、C15 薬物治療に役立つ情報、C16 製剤化のサイエンス
CL 臨床系 ( <u>Clinic</u> )	臨床薬学Ⅰ、臨床薬学Ⅱ、チーム医療・地域医療薬学、老年薬学、処方解析学、(輸液・栄養治療学、病院薬剤師論、保険薬局論)、実務前実習、病院実習、薬局実習	F 薬学臨床	D 実務実習
CC コミュニケーション ( <u>Communication</u> )	基礎コミュニケーション演習(コミュニケーション演習 A)、医療倫理学演習(PBL 型医療倫理学演習)、医療コミュニケーション演習Ⅰ・Ⅱ(コミュニケーション演習 B、医療コミュニケーション演習)	上記 A・F のコミュニケーション演習系	上記 A・D のコミュニケーション演習系
EN 薬学英语 ( <u>Pharmaceutical English</u> )	薬学英语 A・B	薬学英语	
NR ( <u>Nutrition Representative</u> )	NR スキルアップ講座 A・B *平成 26 年度以前入学生対象 **平成 27 年度以降入学生はキャリア教育科目参照	NR スキルアップ講座	
RS 卒業研究 ( <u>Research</u> )	卒業研究Ⅰ・Ⅱ (卒業研究)	G 薬学研究	E 卒業実習教育
R4 演習 ( <u>Review for 4th grader</u> )	基礎薬学演習 A、衛生薬学演習 A、医療薬学演習 A、医療薬学演習 B、薬学法規演習 A	総復習としての 4 年次の演習	
R6 演習 ( <u>Review for 6th grader</u> )	基礎薬学演習 B・C、衛生薬学演習 B、医療薬学演習 C・D・E、薬学法規演習 B	総復習としての 6 年次の演習	

\* 平成 26 年度以前入学で、科目名称の変更があった場合は ( ) で示している。

## 2) 学年(数字 1 文字):

配当学年に応じて、1～6 を設定する。

## 3) レベル(数字 3 文字):

原則としてレベルまたは履修順序を反映した数値を設定する。

- ・1 桁目の数字(001、002...)は、同じ分野領域内でのレベルまたは履修順序を表す。
- ・2 桁目の数字(001、011、021...)は、0 および 1 はコアカリを中心とした科目または薬学準備教育科目、2 はアドバンスト科目、9 は実習・研究系科目を表わす。

## ④ 資格の種類(アルファベット1文字):

各受験資格となる科目に対して、下記の番号を設定する。

S	NR・サプリメントアドバイザー(受験資格)
T	健康食品管理士(受験資格)
ST	上記の両方

※薬剤師免許の受験資格となる科目は表記なしとする。

補足:

※特別再履修科目(卒業延期生用科目含)は、正規科目と同じナンバーとする。

※「分野領域」コードは、改訂版・旧版モデル・コアカリキュラム対象学生ともに、同一とする。